

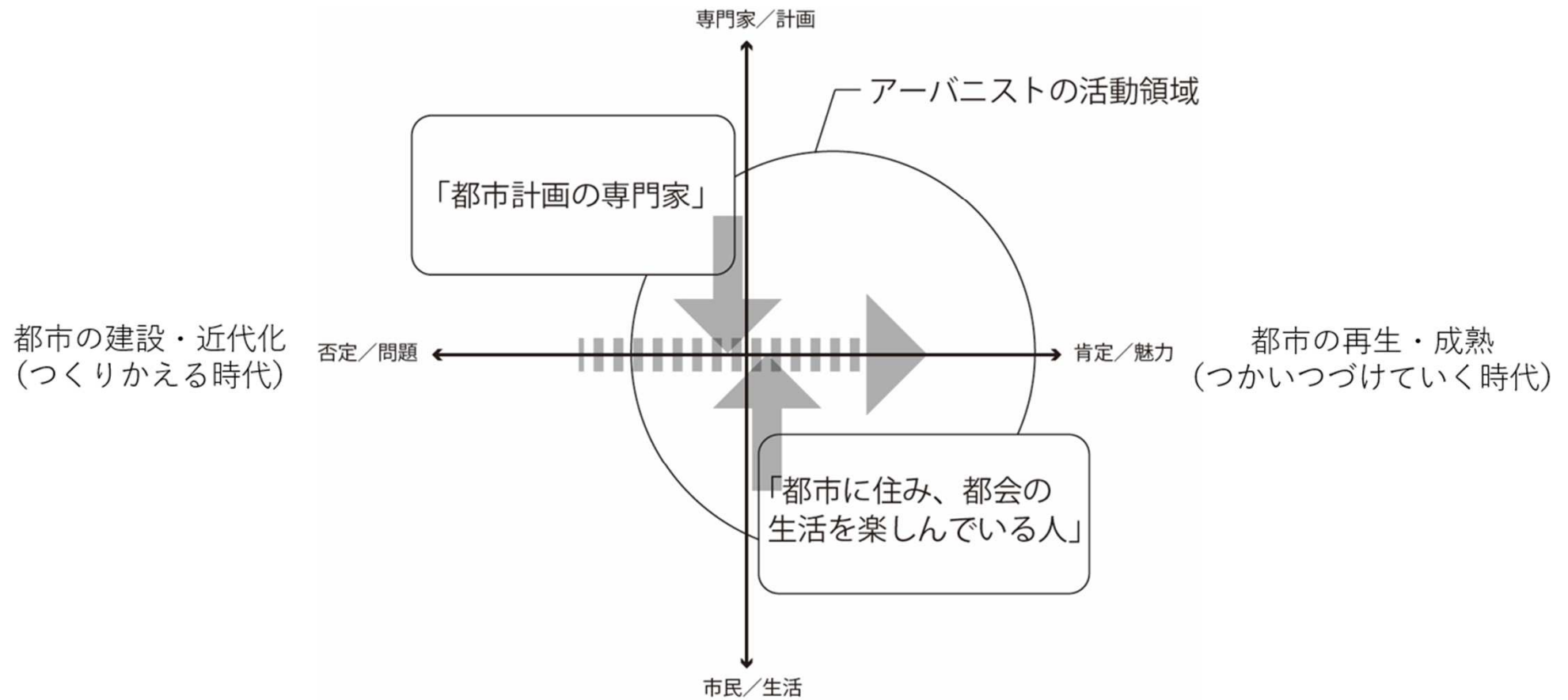
# アーバニスト研究の展望と期待

主に都市デザインの観点から

中島直人

(一般社団法人アーバニスト／東京大学)

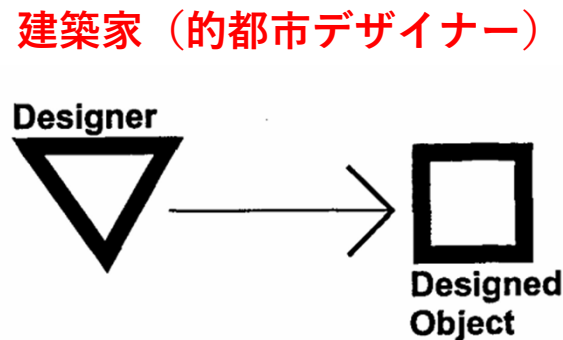
# 「アーバニスト」とは？



# 1 都市デザインから考えるアーバニスト像

# 一次的なデザインと二次的なデザイン

## 一次的なデザイン (first-order design)



## 二次的なデザイン (second-order design)

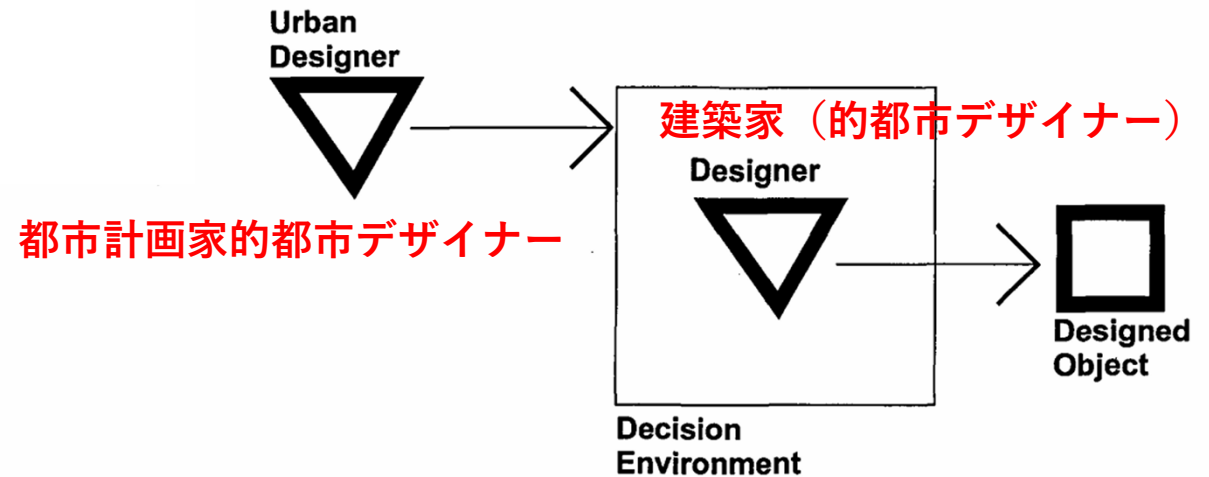


Figure 1. The relationship between the typical designer and the designed object.

Figure 2. The relationship between the urban designer and the designed object.

現代の都市デザイナーは、デザインされた対象とは間接的な関係しか持っていない。他のデザイナーが行う決定に影響を与えることで、設計された対象を形成し、そのデザイナーが直接対象を形成するのである(デザイナーという言葉は、プロのデザイナーだけでなく、その決定が建築環境を形成する非デザイナーも含む意味で使われている。これは、プロのデザイナーが建築環境の追加や変更に責任を持つのはごく一部だからである)。

R. Varkki George, A procedural explanation for contemporary urban design. *Journal of Urban Design*, 2, pp.143-161, 1997

## 一次的なデザインと二次的なデザイン

決定環境（decision environment）をデザインする

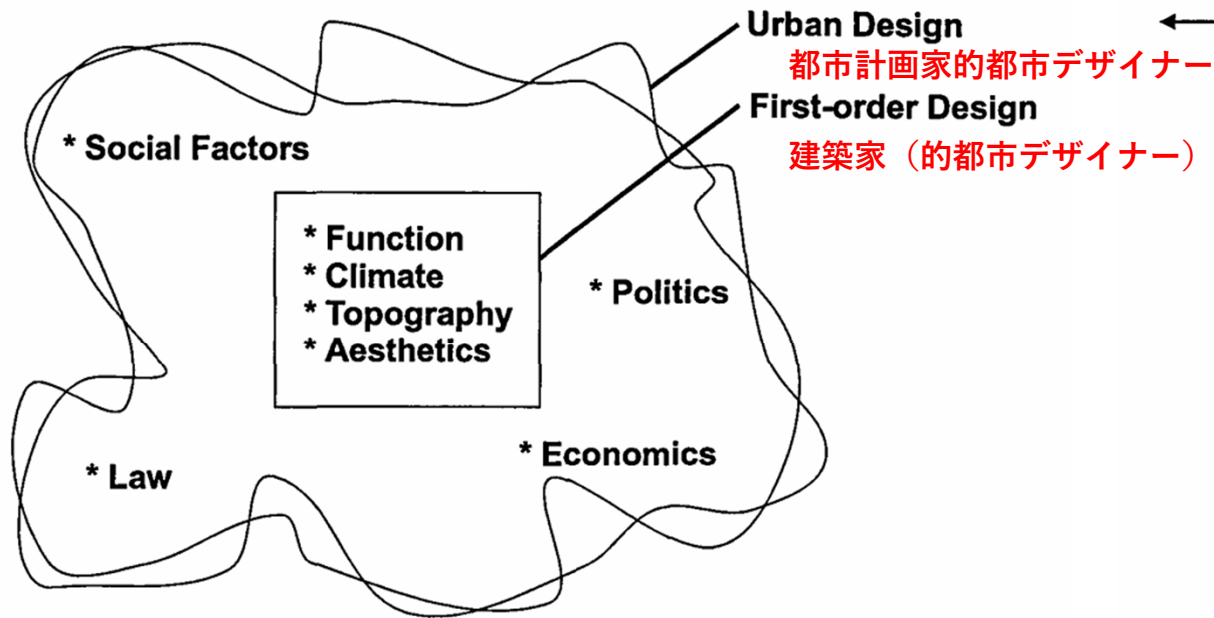


Figure 3. Different decision environments.

包括的というより戦略的

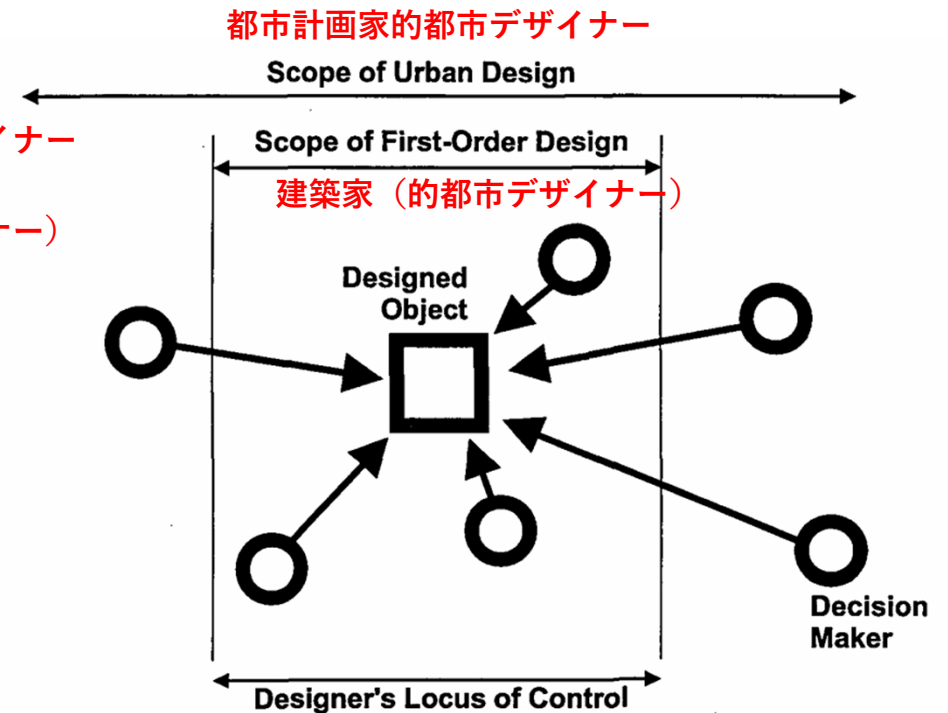


Figure 4. Different control over decision making.

分散的な意志決定環境

## 自己認識型と非自己認識型

自己認識型 (Knowing)都市デザイナー 専門家型	非自己認識型(Unknowing)都市デザイナー 非専門家型
<p>専門家であり、都市デザインの実践家である。その広がり、場所の質に関わる決定に影響があるにも関わらず、自分自身を都市デザイナーとは意識していない物的環境に関する専門家たちで構成される。しかし、彼らは場所の質の維持や向上の探求への自分たちの役割や影響力を認識、評価している。この集団には、デザインの可能性を認識し、価値を加え、長期的な商業的成功をファシリテートする不動産デベロッパーも含まれるかも知れない。</p> <p><b>建築家（的都市デザイナー）</b>      <b>都市計画的都市デザイナー</b></p>	<p>自分たちが行っていることへの認識や評価なしに、都市デザインやプレイスメイキングの決定を行っている都市デザイナーである。政治家、エンジニア、投資家、ビジネスコミュニティ、コミュニティ、家屋所有者、住民、市民など。</p>

### 都市デザイナー：

**狭義：**計画、デザイン、プロジェクト、政策、ガイダンスなど公共・民間の両セクターにおいて都市デザインのサービスを提供する専門家

**広義：**都市環境の形成に決定責任を持つ全ての人々。建築家、ランドスケープアーキテクト、都市計画家、エンジニア、測量家、ディベロッパー、投資家、住民、役人、政治家、イベント企画者、警察官や消防士、公衆衛生専門家など。

Matthew Carmona, *Public places urban spaces : the dimensions of urban design 3rd ed.*, Routledge, 2021

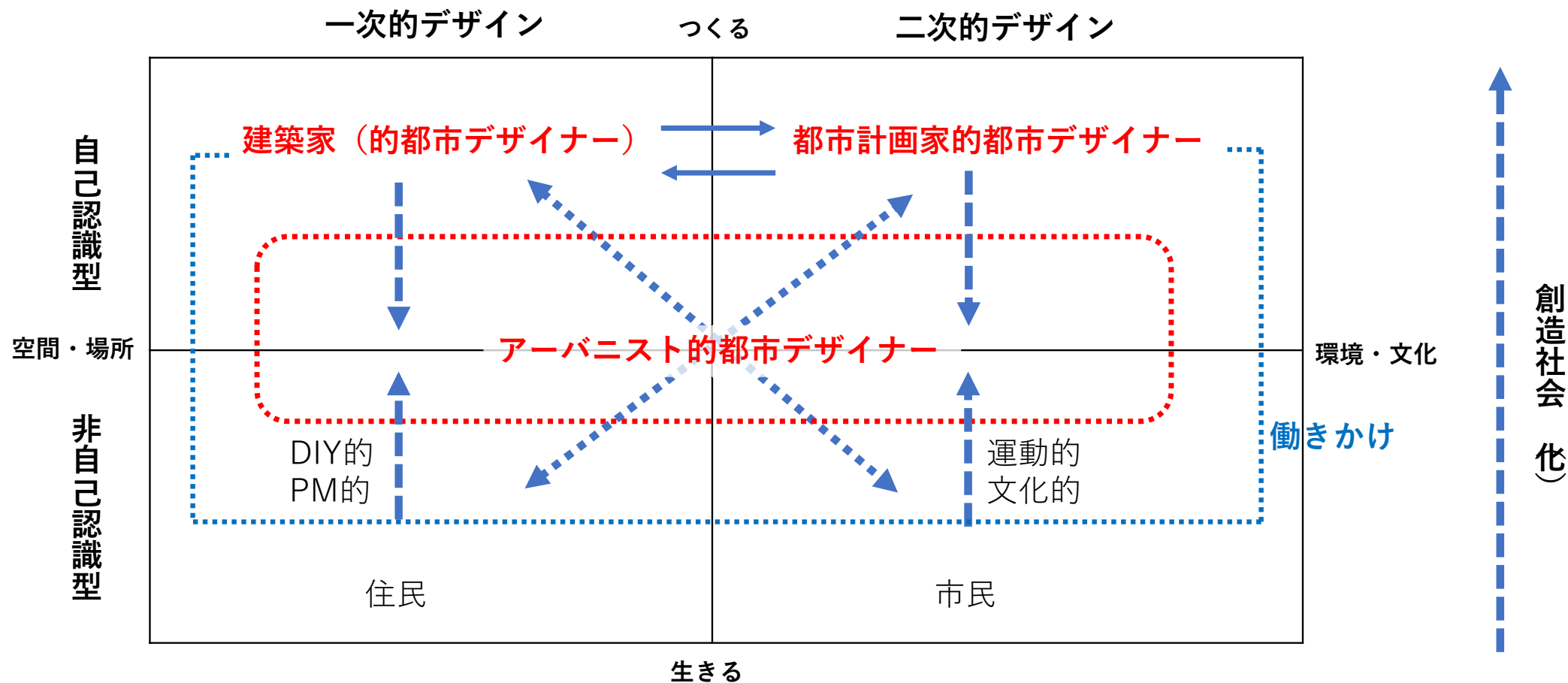
## 自己認識型と非自己認識型

良いデザインの質や追加的な価値についての認識がなく、**場所の創造はしばしば作為というよりも不作為によって生じる。**

自己認識型都市デザイナーの課題、特に都市デザインの実践者にとっては、フォーマルな都市デザインの重要性や価値を証明し、場所への配慮は、無知や怠慢によって欠落したり、見当違いや近視眼的な都合によって省略されることはないということを保障することである。

**この（※自己認識型都市デザイナーの）役割の中には、非自己認識型都市デザイナーの役割の重要性に関する教育や、彼らの活動をポジティブな方向に導くことも含まれる。**

# アーバニスト的都市デザイナーへ





## 2 アーバニスト研究の実践（事例紹介）

# 事例1 過去の都市計画家の中にアーバニスト的人物を見出し、その経験、そのエッセンスを学ぶ研究

石川栄耀、椋内吉胤、大村虔一・璋子夫妻の都市計画思想・実践と地域に開かれた住生活との関係を整理した。

## 冒険遊び場と大村夫妻の住まい



経堂こども天国、1975・1976  
プレイパークせたがやウェブサイトより  
(<https://playpark.jp/history/>)

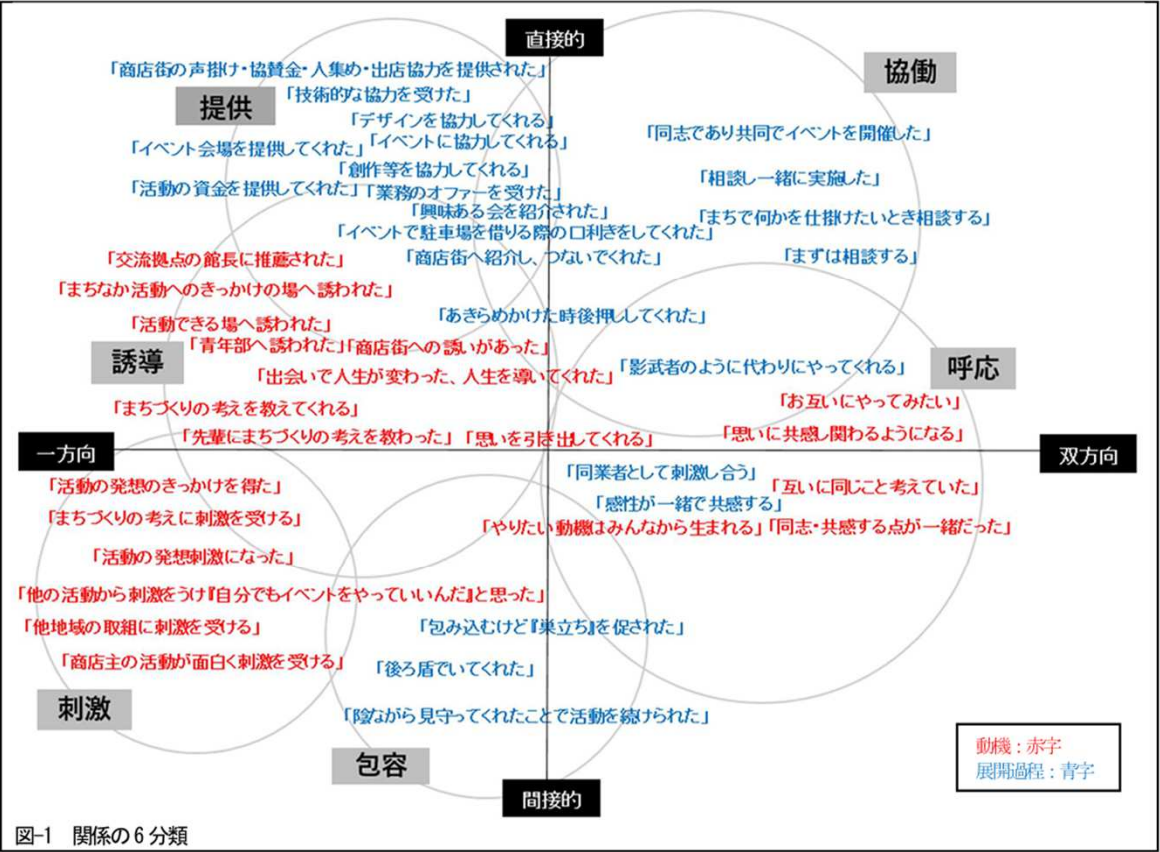
中島直人・武田重昭・後藤智香子 (2025) 「都市計画家の住生活と計画思想・実践との応答関係 -アーバニストたちの史的経験-」 『住総研 研究論文集・実践研究報告集』、No.51、pp.129-139、住総研

# 事例2 人びとはなぜ、自発的にまちづくりに取り組み始めるのか、その要因を他者からの影響の中に探った研究

自発的なまちづくりの担い手13名に、まちづくり活動初動期における他者との関係についてヒアリング

表7 自発的なまちづくり活動の担い手が影響を与えた関係別人数 (●=1人)

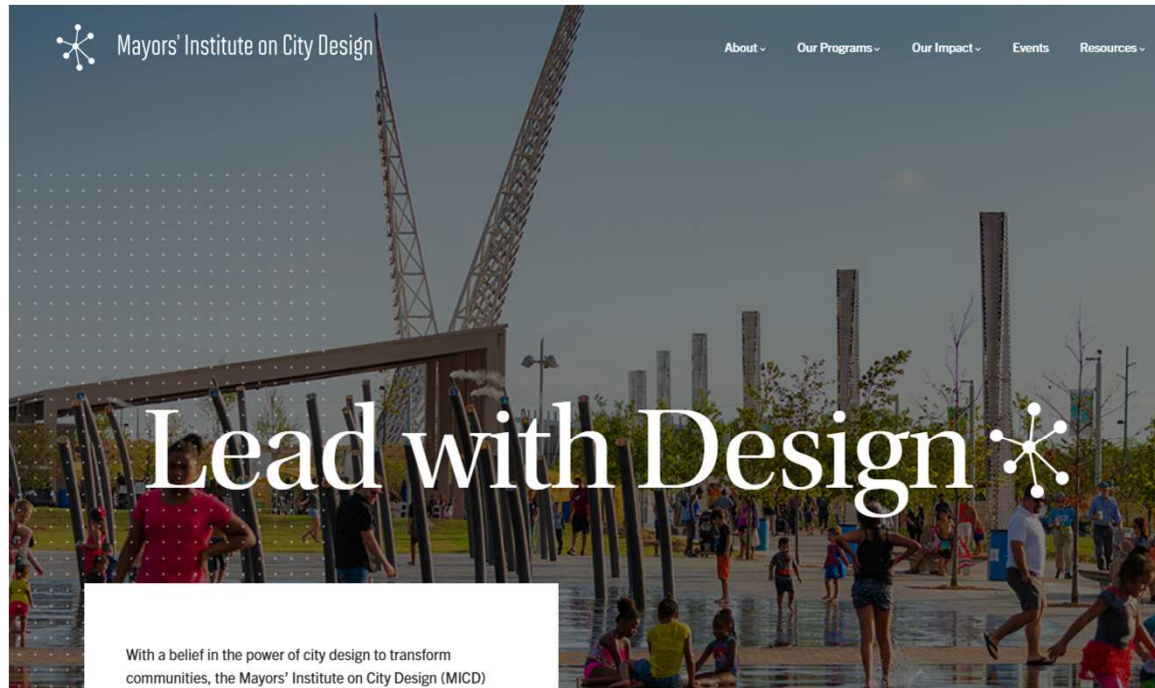
担い手	誘導	呼応	刺激	提供	協働	包容
A-1	●●			●		
A-2	●	●	●	●	●	
A-3			●	●●●	●	
A-4				●		
B-1		●●●	●	●●●	●	
B-2					●	
C-1	●			●●	●	●●
C-2						
C-3						
D-1	●	●	●●			
D-2						
D-3				●	●	
E-1		●●			●	



助川達也, 中島直人, 窪田亜矢 (2024) 「自発的なまちづくり活動の担い手の動機・展開過程に見出される担い手同士の関係 茨城県古河における担い手の役割・態様に着目して」、都市計画論文集、59巻1号、pp.1-7、日本都市計画学会



## 事例3 自治体首長（市長）に「都市デザイナー」としての自覚と知識を教育する取り組みに関する研究



市長と専門家が一緒に参加するシャレットワークショップを行う組織について研究した。

表-4 MICDセッションのプログラム例

1日目	
参加者の到着	
15-17時	オプション ウォーキングツアー
18-19時	カクテルタイム
19時	オープニングディナー
19時45分	イントロダクション
21時45分	オプション ホテルラウンジでの会談
2日目	
7時	朝食
8時30分	ホテル出発
9時-9時10分	イントロダクションと概観
9時10分-9時30分	リソースチームのプレゼンテーション
9時30分-10時50分	市長によるケーススタディのプレゼンテーションと議論
<休憩>	
11時05分-11時25分	リソースチームのプレゼンテーション
11時25分-12時45分	市長によるケーススタディのプレゼンテーションと議論
<ランチ>	
13時45分-14時05分	リソースチームのプレゼンテーション
14時05分-15時25分	市長によるケーススタディのプレゼンテーションと議論
<休憩>	
15時40分-15時50分	集合写真撮影
15時50分-16時10分	リソースチームのプレゼンテーション
16時10分-17時30分	市長によるケーススタディのプレゼンテーションと議論
17時45分	ホテル帰還
19時	ディナー
21時45分	オプション ホテルラウンジでの会談
3日目	
7時	朝食
8時30分	ホテル出発
9時-9時20分	リソースチームのプレゼンテーション
9時20分-10時40分	市長によるケーススタディのプレゼンテーションと議論
<休憩>	
10時55分-11時15分	リソースチームのプレゼンテーション
11時15分-12時35分	市長によるケーススタディのプレゼンテーションと議論
<ランチ>	
13時45分-14時05分	リソースチームのプレゼンテーション
14時05分-15時25分	市長によるケーススタディのプレゼンテーションと議論
<休憩>	
15時45分-16時05分	リソースチームのプレゼンテーション
16時05分-16時25分	セッションの評価とまとめ
16時30分	会場出発
19時	ディナー

中島直人（2010）「自治体首長を対象とした都市デザイン教育に関する研究で」『都市計画論文集』、45-3号、pp.205-210、日本都市計画学会

-米国における都市デザイン市長協会（MICD）の活動に着目し

# アーバニスト的都市デザイナーへ

